

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	集中治療における鎮痛、鎮静、不穏およびせん妄の抑制の管理が患者予後に与える影響
研究責任者	小幡 由佳子
研究機関名	浜松医科大学
研究目的と意義	当院 ICU においてガイドラインに沿った方法で重症患者の鎮痛、鎮静、せん妄をスコアを使って評価し、治療、予防を行っていくことで、評価開始以前との ICU 入院期間、死亡率、人工呼吸器期間、病院入院期間など患者予後に変化があるかどうか調査する。また実際に医療現場で使いやすい形のバンドルを作成し、これに沿って患者管理をしていき、バンドル実施前後での ICU 入院期間、死亡率、人工呼吸器期間、病院入院期間など患者予後についても調査する。
研究期間	西暦 2015 年 1 月 (倫理委員会承認後) ~ 2019 年 12 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん：2008 年 1 月～2015 年 1 月に入室した集中治療部入室患者</p> <p>●研究に使用する試料： (1) 血液検査結果 (2) 臨床評価表 (3) 血液ガス検査結果 (4) ICU 経過表 (5) 診療カルテ</p> <p>●研究方法 ICU 入室した成人患者全員について、ガイドラインに従って鎮痛、鎮静、せん妄の評価、治療を行っていく予定。痛みの評価を行い疼痛大と判断された場合には鎮痛薬の投与を行い、再度疼痛評価をする。鎮静スコアとしては Richmond Agitation-Sedation Scale (RASS) を使用、目標鎮静レベルを設け、浅めの鎮静を目指す。せん妄の評価は CAM-ICU を用いて各勤務帯と随時評価、せん妄がある場合には薬物治療も考慮、予防として早期離床、リハビリテーションの開始、睡眠コントロールに努める。 ICU 入院期間、死亡率、人工呼吸器期間、病院入院期間など患者予後について調査、ガイドライン導入前と導入後で差があるか調べる。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：集中治療部 担当者：小幡由佳子 TEL：053-435-2286 FAX：053-434-1812 E-mail：